

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和三年二月度 入選句（投稿総数二千二百二十三句・一般投句数五百四句）

特選

寒鯉の尾びれ初動の濁りかな

大垣市

小林 研

今年も大変寒い日が続きました。万物皆寒いと億劫になります。きつと鯉も水底にじつとして寒さをこらへているでしょうか。少し暖かくなり動き出すのでしょうか。「初動の濁り」とはうまく言ったものです。生きるものの喜びを感じる素敵なお句ですね。

寄鍋や愚痴も自慢も取りまぜて

愛知県尾張旭市

小野 薫

仲々愉快な御句ですね。いろいろ入った寄鍋は美味しいですもの。
箸で差し挟む中に愚痴も自慢も混ぜ合わせ話のはづむ一刻ですね。
楽しいですね。

妻と暮らす不足なき日の霜柱

静岡県富士市

磯野 昭仁

ほのぼのとした御句ですね。日々の暮しが目に見えて参ります。そんな日々にも寒い日が訪れ霜柱の白くきらきらし太陽の暖かさが感じられる思いです。幸せな御句ですね。

秀逸

白指の添える蛇の目に細雪

大垣市

土屋 和馬

箴の音糸屋格子の底冷ゆる

大垣市

白井 秀子

しぐれ虹仰ぎて辞する永源寺

不破郡垂井町

中西 弘子

目で笑ひマスクに嘘を隠しけり

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

期日前投票時雨傘杖に

大垣市

井沢 美志津

坂よぎる北風足にまといつく

不破郡垂井町

清水 るり

言の葉を封書に込めし雪の夜

大垣市

大角 信華

左義長の火炎闇夜をこじあける

大垣市

高田 雅章

琴始古曲をゆるりゆるりとや

本巢市

小泉 裕子

神殿の鈴緒手招く春隣

大垣市

傍島 隆

入選

朝刊を繰り返しみる雪の夜 大垣市 平野 きぬよ
 みどり児は春の土ふむ二歩三歩 不破郡垂井町 中西 弘子
 水底に翳となりたる寒の鯉 大垣市 伊藤 英司
 寒禽の声つきささる御神木 岐阜市 田中 淳子
 ネイルカラー並べて迷ふ春隣 不破郡垂井町 北村 廣美
 春近し川音かろき四分音符 揖斐郡揖斐川町 栗野 みねお
 虚貝拾ふのが好き波は春 奈良県奈良市 やまとなでしこ
 寒鴉何を捌くや嘴を研ぐ 不破郡垂井町 西田 厚堂
 峠道なほ五千歩の寒日和 大垣市 和田 勝子
 初明り海原の波高からず 大垣市 鶴田 信子

入選

書初の撥ねゆたかなり山河立つ 岐阜市 堀江 美州
 伊吹山白く化粧や寒さ増す 不破郡垂井町 中嶋 結映
 蔦枯れて老舗の屋号顔を出す 大垣市 中山 あや子
 書初めや紙をはみ出す我が健康 大垣市 大原 巖
 靴音のいよ冴えかえる夜の闇 大垣市 多賀 英華
 衿立てて歩を速めたる寒暮かな 大垣市 樋口 絹子
 寒の水ふふめば六腑貫けり 大垣市 傍島 豊子
 咲き誇る花壇の手入れ日永かな 大垣市 久保田 悟義
 初日の出光のシャワー手を合わし 滋賀県甲賀市 奥村 紀久代
 雪兔一跳ねもせず消えにけり 福岡県福岡市 大津 英世

選者吟

初蝶は影まき散らし影と去る

美代子